

就寝中、歯ぎしりの癖はありませんか？歯ぎしりは、日中のストレスを発散させる役割がある、とも言われますが、歯のためによくありません。また、音を立てない食いしばりをしていて、家族も自分も気づかないうちに、歯を傷めているケースもあります。

使っていますか？ ナイトガード



60歳からの 「肉の食べ方」

年齢を重ねると、肉を避け、魚や野菜中心の食事を好む人が多くなるようですが、健康的な食事のようですが、実は危険な落とし穴があるそうです。それが「新型栄養失調」です。

新型栄養失調とは、カロリーは足りているのに、ビタミンやたんぱく質、ミネラルが不足して体に不調をきたすことを言います。この症状は、外食やインスタント食が多い一人暮らしの若者にも見られます。高齢者にも多く、70歳以上の5人に1人が当てはまるそうです。特にタンパク質の不足が顕著になります。

肉には良質なたんぱく質が含まれており、筋肉の維持には欠かせません。また免疫力をつけるためにも必要です。牛・豚・鶏にはそれぞれ違う栄養素が含まれるため、1種類ではなくいろんな種類を食べることが望ましいです。

一方、魚からは不飽和脂肪酸が摂取できるので、魚もまた積極的に食べていただきたい食品です。肉と魚は1対1で、一日おきくらいに食べるといいようです。いろいろな食材をバランスよく頂きましょう。

こうしたリスクを防ぐには、ナイトガードがお勧めです。歯と歯の間でクッションとなれば違和感があるかもしれません、歯の型にピッタリと合わせて作りますので、数日で慣れてくると思います。

ナイトガードを装着したら就寝前はリラックスして、肩や腕、足などを脱力し、翌朝爽やかに目覚める自分をイメージしながらお休みください。

骨から見るワンデイインプラント治療

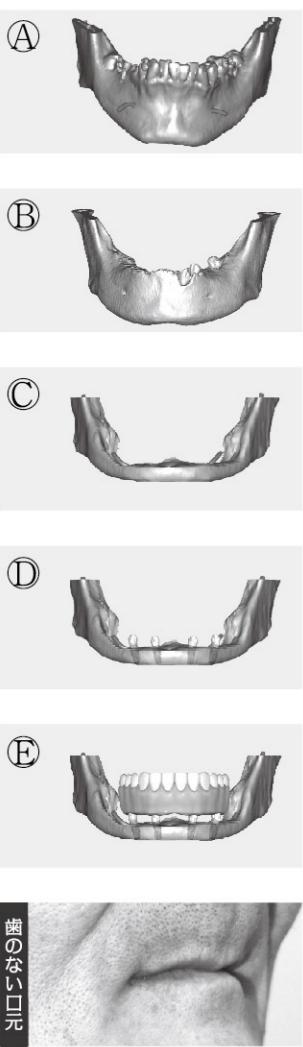
私たちが行っているインプラント治療のうち、あご全体を一日で固定式の歯にする治療を、ワンデイインプラントと言います。一日で綺麗な仮歯が入るので、この治療を行った患者様からも、大変喜ばれています。今回、患者様が普段は目にすることのない、あごの骨からワンデイインプラント治療を見てみましょう。

Ⓐは、下あごの骨の様子です。健康な状態で、骨の厚みはこれだけあります。しかし、残念ながら歯を失うと、あごの骨は徐々に痩せていきます。歯を支えるという役目がなくなつたからです。

Ⓑは全ての歯を失った人の頸の骨の様子です。健康だった時よりも痩せているのがわかると思います。

さて私たちは歯科治療を通じて、人々の健康に貢献したいと願っています。お口は栄養の入り口であり、健康への第一歩です。ですから、お口の健康だけにどまらず、全身の健康のお役に立てるよう、この情報誌を作成しています。何かのヒントになれば幸いです。今年も一年、皆様が健やかに過ごされますように、願っております。

1日で美しい笑顔が手に入る高度歯科医療「ワンデイインプラント」の情報誌
この中にサルは何匹いるでしょう？(正解はウラ)



中平 宏

ワンデイインプラントジャーナル

2016新春

1日で美しい笑顔が手に入る
高度歯科医療「ワンデイインプラント」の情報誌

この中にサルは何匹いるでしょう？(正解はウラ)

謹賀新年

に痩せさせてしまします。

Ⓒは、長期間入れ歯を使い続けた人の頸の骨です。ここまで薄くなることもあります。しかし、残念ながら歯を失うと、あごの骨は徐々に痩せていきます。歯を支えるという役目がなくなつたからです。

Ⓓは全ての歯を失った人の頸の骨の様子です。健康だった時よりも痩せているのがわかると思います。

人工歯は、痩せてしまった骨の部分をⒹのように行うことになりました。インプラントを4本埋めて、Ⓔのように入歯を固定します。インプラントに、人工歯を固定します。治療をすることで、骨に役割が復活し、これ以上痩せることを防げます。

人工歯は、痩せてしまった骨の部分まで再生するように作ります。するとあごの高さが出るので、クシャツとした口元から若々しい口元に変わります。ワンデイインプラントは、失った歯と失った骨格をも再生させる治療と言つても過言ではないでしょう。

就寝中、歯ぎしりの癖はありませんか？歯ぎしりは、日中のストレスを発散させる役割がある、とも言われますが、歯のためによくありません。また、音を立てない食いしばりをしていて、家族も自分も気づかないうちに、歯を傷めているケースもあります。

歯ぎしりや食いしばりをすると、自分の体重かそれ以上の力が歯にかかります。それが原因で、歯が欠けたり歯の根が折れたりする場合が多いです。人工歯も同様です。また歯の根やインプラントの周囲の骨が溶かされてしまうこともあります。顎関節症や偏頭痛、腰痛などの原因にもなります。

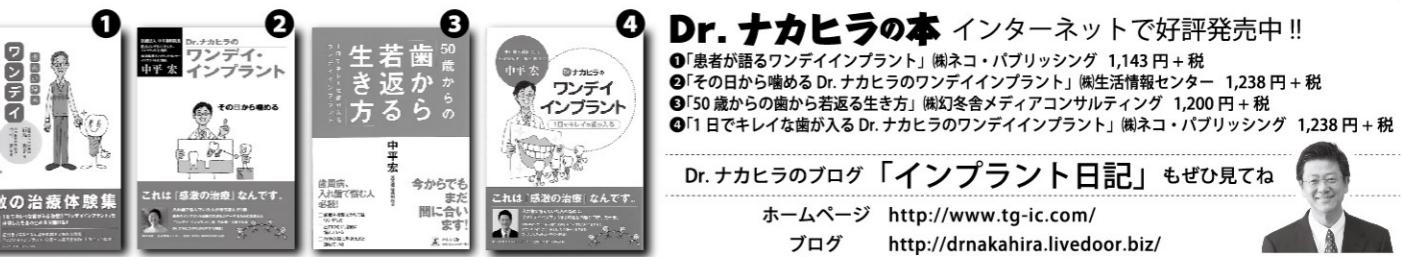
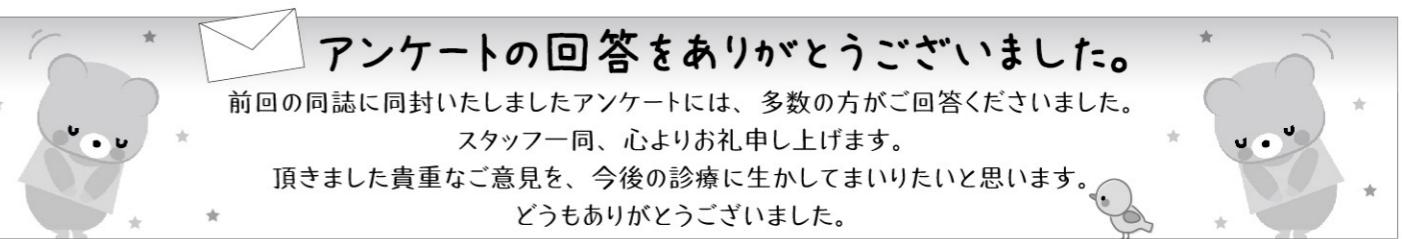
こうしたリスクを防ぐには、ナイトガードがお勧めです。歯と歯の間でクッションとなります。直接強い力がかかるのを防ぎます。初めは違和感があるかもしれません、歯の型にピッタリと合わせて作りますので、数日で慣れてくると思います。

ナイトガードを装着したら就寝前はリラックスして、肩や腕、足などを脱力し、翌朝爽やかに目覚める自分をイメージしながらお休みください。

年齢を重ねると、肉を避け、魚や野菜中の食事を好む人が多くなるようですが、健康的な食事のようですが、実は危険な落とし穴があるそうです。それが「新型栄養失調」です。

肉には良質なたんぱく質が含まれており、筋肉の維持には欠かせません。また免疫力をつけるためにも必要です。牛・豚・鶏にはそれぞれ違う栄養素が含まれるため、1種類ではなくいろんな種類を食べることが望ましいです。

一方、魚からは不飽和脂肪酸が摂取できるので、魚もまた積極的に食べていただきたい食品です。肉と魚は1対1で、一日おきくらいに食べるといいようです。いろいろな食材をバランスよく頂きましょう。



特集

インプラント治療と全身疾患



前回の糖尿病に続き、第二弾は高血圧症についてです。日本人の男性では50代以上、女性では60代以上で、高血圧の割合が50%を超えてます。年齢を重ねるにつれて、高血圧は増えています。インプラント治療においても、高血圧は手術を困難にする要因の一つです。ぜひ一緒に学んでいきましょう。

前回の糖尿病に続き、第二弾は高血圧症についてです。日本人の男性では50代以上、女性では60代以上で、高血圧の割合が50%を超えてます。年齢を重ねるにつれて、高血圧は増えています。インプラント治療においても、高血圧は手術を困難にする要因の一つです。ぜひ一緒に学んでいきましょう。



血圧とは

そもそも血圧とは、血液が血管の中を通過するとき、血管にかかる圧力のことです。上の血圧とも言います。そして、収縮した後に心臓が広がる（拡張する）時には圧力が一番低くなります。これが最低血圧（拡張期血圧）です。最高血圧と最低血圧のどちらが高くても、高血圧です。

このとき、ホースには高い水圧がかかっています。また、水の量が少くとも、ホースのどこかを押さえつけて通りにくくすれば、そこから後ろのホースはやはり張りつめた状態になります。これと同じように、血圧とは、心臓が送り出す血液の量（心拍出量）と、それを流す血管の通りづらさ（末梢血管の抵抗）とで決まります。

心臓がギュッと収縮して血液を押し出した瞬間が、血管に一番強く圧力がかかります。これが最高血圧（収縮期血圧）です。上の中を通過するとき、血管にかかる圧力のことです。そして、収縮した後に心臓が広がる（拡張する）時には圧力が一番低くなります。これが最低血圧（拡張期血圧）です。最高血圧と最低血圧のどちらが高くても、高血圧です。

このとき、ホースには高い水圧がかかっています。また、水の量が少くとも、ホースのどこかを押さえつけて通りにくくすれば、そこから後ろのホースはやはり張りつめた状態になります。これと同じように、血圧とは、心臓が送り出す血液の量（心拍出量）と、それを流す血管の通りづらさ（末梢血管の抵抗）とで決まります。

このとき、ホースには高い水圧がかかっています。また、水の量が少くとも、ホースのどこかを押さえつけて通りにくくすれば、そこから後ろのホースはやはり張りつめた状態になります。これと同じように、血圧とは、心臓が送り出す血液の量（心拍出量）と、それを流す血管の通りづらさ（末梢血管の抵抗）とで決まります。

というよりも、様々な合併症を引き起こす怖さがあります。

食塩量を減らすには

高血圧の予防の第一に挙げられるのは、食塩量を減らすことです。食塩を摂り過ぎると血圧が上がることは、多くの研究や統計から指摘されています。しかし食塩による血圧上昇の程度（食塩感受性）には個人差があり、食塩を多く摂つても血圧が上がらない人もいます。ただ、食塩感受性を簡単に測定する方法がなく、また減塩は血圧だけではなくいろいろな点から健康のために良いので、誰にとつても食塩を減らす効果はあります。

日本人の成人に推奨されている塩分摂取の目標値は、男性が10g未満、女性が8g未満です。しかし、実際の摂取量は11g～12g位だと言われています。ヨーロッパやアメリカでは8～10gだと言われていて、国際的にみても日本人は多量に摂取しています。これは味噌や醤油などの調味料、漬物などの塩分の高い保存食が原因だと考えられます。また加工食品にも塩分が多く含まれています。食品を選ぶ際には、なるべく塩分の少ないものを選ぶこと、また調理や食卓でも塩分を減らす工夫をしてみましょう。

- 1. 昆布や鰯節など、だしを利用して、薄味に慣れる。
(だし風味の調味料には塩分が含まれています)
- 2. 漬物・汁物の量に気を付ける。
- 3. 献立にいろいろな味付けを加え、塩味を効果的にする。
- 4. 醤油やソースは「かけて食べる」より「つけて食べる」。
- 5. かんきつ類や酢などの酸味を上手に使う。
- 6. 香辛料を加えて、味に変化を。
- 7. ゆず、しそ、みょうが、ハーブなどの香りを利用する。
- 8. 炒ったゴマやくるみなどで和えるなど、香ばしさをプラスする。
- 9. 胡麻油やオリーブオイルなどを、食べる前に少しきけて、風味を増す。
- 10. 酒の肴は少量に。
- 11. 練り製品、加工食品も控えめに。

予告
次号では、正しい血圧の測り方や高血圧の治療法について学びましょう。お楽しみに♪

骨が薄くなっている時の処置 「サイナスリフト」

上顎には、鼻の奥に当たる部分に上顎洞という空洞があります。そのため、もともと上顎には下顎ほどの骨の厚みがありません。歯を失うと、骨は歯を支えるという役目がなくなるので、徐々に痩せてしまします。上顎の骨が痩せて薄くなると、インプラント治療は非常に難しくなってきます。

このような時に用いるのが、サイナスリフトという骨を増やす処置です。歯肉を開き、上顎洞の横から窓を開けるように骨の一部を外します。このとき上顎洞を覆う、洞粘膜（シユナイダーカー膜）を破らないように気をつけなければいけません。慎重に骨と粘膜を剥離して、そこに人工骨を補填し、外した骨を戻して縫合します。

この処置は、患者様の骨の状態にもよりますが、インプラントの埋入手術と同時に実行する場合もあります。以前であれば、骨が薄くてインプラント治療はできないと言われたり、あるいは骨の移植手術を受けて何ヶ月も骨が固まるのを待つ必要があつたりした人も、無理なくインプラント治療を受けていただけです。

人工骨は、やがて自分の骨と置き換わります。人工骨の材質の向上もまた、この処置を可能にしている理由の一つです。

骨が薄くてインプラント治療を諦めている方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度ご相談にいらしていただきたいと思います。

